

道徳授業地区公開講座 6年生資料

1. 6年生の実態

歴史的人物や著名人の生き方に触れる機会が多くなり、その生き方に憧れたり、自分の夢や希望をふくらませたりする時期です。一方で、自分に自信がもてなかったり、思うように結果が出なかったりして、理想と現実の違いを意識するようになってきます。夢や目標をもつことの大切さに気づき、困難があっても簡単にあきらめず、努力し続けようとする心を育んでいきたいです。

2. 授業について

(1) 主題名「夢や高い目標に向かう【希望と勇気、努力と強い意志】」

(2) 教材名「夢に向かって」

体操競技の内村航平選手、サッカーの本田圭佑選手、陸上競技の谷真海選手という3人のアスリートがそれぞれの夢に向かう姿勢を通して、目標を目指し、くじけずに努力することの大切さについて考えられる教材です。世界を舞台に活躍する一流の選手であっても、皆、悩み苦しみながら夢をかなえてきたことが理解でき、子どもたちにとって励みになるのではないかと思います。

(3) ねらい

3人のアスリートがそれぞれ夢に向かって努力を続けた姿について考えることを通して、夢や希望をもつことが課題や困難を乗り越える人間の強さにつながることに気づき、より高い目標に向かって、くじけずに物事をやり抜こうとする道徳的実践意欲を培う。

(4) 期待する児童の姿

- ・アスリートのエピソードを読んで、3人の生き方の根底にある思いについて自分と重ね合わせながら考えを深める。
- ・夢を実現するために大切なことについて友達と意見を交流しながら、より高い目標に向かってくじけずに物事をやり抜くことについて、自己との関わりで考えを深める。

3. 家庭でも考えよう

6年生の子どもたちは、小学校卒業・中学校進学を控え、将来への夢や希望に向かっていろいろなことに挑戦していますが、その一方で、物事がうまくいかずに理想と現実とのギャップを感じたり、友達と自分を比較したりして、自分自身に自信がもてずに不安を抱えるような面もあります。

日々の生活を輝かせ、充実させるためにも、夢や目標をもち続けることは大切なことです。夢や目標は、最初から大きなものである必要はありません。子どもたちは高いところを見て不安になってしまいがちですが、まずは手を伸ばせば届きそうなところにある夢や目標でよいのだということを伝え、一步一步努力を続けることの大切さについて話し合ってみてください。そして、子どもたちの努力を認め、励まし、粘り強く努力し続けることが力につながることを、もしも結果としてうまくいなくてもその子の価値は変わらないことを伝え、子どもたちが自信をもって物事に挑戦できるよう見守ってあげてください。